

No 461

平成29年度 港区事務事業評価シート

評価対象			
事務事業名	選挙啓発事業	開始年度	昭和 32 年度
所属	選挙管理委員会事務局		
所管課長	選挙管理委員会事務局長		
基本政策	—		
政策名	(31) 経営力を強化し、諸政策を着実に推進する		
施策名	② 基礎自治体として自主・自立した行財政運営の確立		

事業概要	
事業の目的	有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加するよう働きかけるため、港区明るい選挙推進協議会及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトの活動を支援し、広く選挙啓発を推進します。 このことで、有権者の政治意識の向上を図り選挙への関心を高めます。
事業の対象	区民（有権者及び将来の有権者）
事業の概要	港区明るい選挙推進協議会（委員及び啓発指導員の133名）が地域での話し合い活動を通じて、選挙啓発活動を実施することを支援します。また、区内の小・中・高等学校で模擬投票授業や選挙授業を行い、若者の選挙への関心を高め、将来の有権者育成を図ります。 MINATO「選挙いっ得?!」プロジェクト（18名）は、若者による選挙啓発活動の担い手を育成し、SNSなどを利用した多様なチャンネルでの情報発信を組み合わせながら、投票率が特に低い若者層への効果的な選挙啓発を展開しています。 ■明るい選挙推進協議会及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトの活動経費 ■管外研修 9月に先進的取組み実績のある明るい選挙推進協議会に訪問し交流研修を実施 ■ポスターコンクール 9月募集・審査会、10～12月に区内7か所での展示会開催（都及び全国展への出品を兼ねる。）
根拠法令	公職選挙法（第6条及び第261条の2）

事業の成果												
指標	指標1	模擬投票授業及び選挙授業の開催数			指標2	話し合い活動参加者数			指標3	ポスターコンクール応募者数		
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成27年度	46	16	34.8%	平成27年度	5,000	7,556	151.1%	平成27年度	200	234	117.0%
	平成28年度	46	19	41.3%	平成28年度	7,000	6,844	97.8%	平成28年度	200	214	107.0%
平成29年度	46	—	—	平成29年度	7,000	—	—	平成29年度	220	—	—	
成果の概要 (指標の説明等)	<p>学校への啓発活動の取組みは、選挙権年齢の18歳への引下げを契機に高校からの授業要望が増えていることから、実績として増加傾向にあります。また、話し合い活動への参加者数は、選挙の執行回数による影響から昨年度は実施回数が減った影響で、参加者数は減となりました。</p> <p>ポスターコンクールの応募者数は、年により学校による取組みに差があり応募作品数に増減がみられます。</p>											

事業費の状況(単位：千円)											
年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成27年度	8,004	8,004	0	0	0	0	0	0	8,004	6,661	83%
平成28年度	4,472	4,472	0	0	0	0	0	0	4,472	4,074	91%
平成29年度	6,657	6,657	0	0	0	0	—	—	—	—	—
予算・決算に関する特記事項	明るい選挙推進協議会管外研修（宿泊研修H27,29 日帰り研修H28）										

事務事業を取り巻く状況等	
コスト削減の工夫・余地	選挙啓発は区民の意識に働きかける活動でもあるため、明るい選挙推進協議会委員やMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトメンバー自身の政治意識向上がまず必要です。そのための活動費、研修費、啓発紙及び啓発グッズの作成費といったコストであり、現在の活動に見合ったものです。ただし、行政や地域のイベントなど人の集まる場所に向いて啓発するなど、効率のよい啓発となるよう工夫はしています。
区民ニーズや要望(今後の需要見込み)	健全な民主主義の発展のためには、一人一人が有権者としての意識向上と選挙への参加が欠かせません。近年の投票率低下や選挙権年齢の引下げによる若年層有権者の増加など、ますます選挙人が政治と選挙に深い関心と高い意識を持つきっかけを作ることが大切になっています。 なお、学校側からの選挙授業開催希望は増えてきています。
他団体等の取組状況(類似事業の有無)	明るい選挙推進協議会は都内の全区市に設置されており、その選出母体は多様かつ人数もまちまちですが、地域での話し合い活動や研修等を通じて各種常時啓発及び選挙時啓発に取組むなど、明るい選挙の実現に向け活躍している。また、MINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトのような若者による選挙啓発の取組みは、若者から若者への啓発という視点でいくつかの区で取組みが始まっています。
区関与の必要性(実施する必要性)	公職選挙法では、選挙管理委員会は常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努めるものとされています。近年、あらゆる選挙において投票率の低下傾向が顕著であり、特に若い世代の投票率の低さは全国的な問題となっていることから、継続して取組むことに意義があると考えます。
前年度の最終評価及び付帯意見	対象外
事業の課題	学校からの選挙授業の希望時期が集中することから、選挙執行時と重なった場合の事務局対応が十分でないケースにおいても授業が行えるよう、明るい選挙推進協議会委員及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトメンバーの啓発スキルを高めていくことが必要です。 また、街頭啓発において一番のアイキャッチ役となる「みなとのめいすいくん」の着ぐるみが経年劣化していることから、新調することが必要です。
次年度へ向けた事務の改善点(付帯意見への対応等)	明るい選挙推進協議会委員及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトメンバーが各自の教養を高めてもらい、選挙啓発に活かせるような選挙や政治といった視点からの講話を聴けるような研修会を開催します。

一次評価(所管課による自己評価)		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 必要性	5	投票を棄権せず、積極的に投票するよう有権者に働きかける啓発は、社会の健全な発展を維持するために必要不可欠なものです。投票率は低下傾向にあり、また、若年層の投票率向上が求められていることから、明るい選挙推進協議会及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトによる啓発活動は、区民参加の活動という面からも重要であり、今後も継続すべきです。
② 効果性	4	選挙啓発は、すぐにその効果が目に見えるものではありません。しかし、政治への無関心と投票率低下の問題を解決するには、地道な啓発活動以外に有効な手段はなく、広く有権者の意識に働きかける活動として継続していくことが有効です。
③ 効率性	4	明るい選挙推進協議会及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトが取組んでいる啓発活動は地域の方達によるものであり、区内全域を対象に啓発を行うなど効率的でもあります。また、こうした方々は投票所の管理者や立会人を務めて頂けるなど、選挙執行の面からも貴重な人材として貢献しています。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充	● 継続	○ 改善	○ 廃止	○ 統合
・拡充は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を拡充(拡大または充実して実施)する必要があるもの。 ・継続は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を継続(現状の内容で実施)する必要があるもの。 ・改善は、「拡充」「継続」「統合」「廃止」に該当しないもので、事務事業の手段、手法を見直しサービス内容等を改善すべきもの。 ・統合は、効果性、効率性の向上が見込まれるため、他の事務事業と整理統合を検討すべきもの。 ・廃止は、事務事業の廃止を検討すべきもの。					
所管課による評価の理由(事業に対する取組方針) ※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	有権者の声を政治に反映させていくためには、投票率の向上は非常に重要です。それには、選挙時だけでなく、日頃から有権者に対して選挙への理解が深まるような継続した常時啓発が必要です。 そうした活動に、明るい選挙推進協議会は地域での地道な活動に取組み、また、MINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトによる若者から若者への啓発といった切り口からの啓発にも取り組んでいます。また、教育現場と協力しながら、将来の有権者でもある小学生、中学生及び高校生に対して主権者教育のサポートに取り組んでいます。選挙啓発事業は、こうした幅広い啓発活動を展開している事業です。 当区の投票率は、国政選挙及び地方選挙問わず、他区との比較で低い傾向にあります。こうした状況をすぐに改善する妙案はありませんが、他区においては啓発専門の係を設置して取組んでいる所もあるように、啓発はコツコツとした取組みを積み重ねていくことが重要です。 そうした中においても、啓発活動を推進する明るい選挙推進協議会委員及びMINATO「選挙いっ得?!」プロジェクトメンバーのスキルを高めることが必要なことから、人員、予算とも拡充する必要があると考えます。				